



特長

- ヘッドホン、スピーカー、マイクロホンの試験に最適
- APx500 ソフトウェアに完全対応
- DC - 100 kHz、20 dB固定ゲイン 2 ch アンプ内蔵
- 電流検出レジスタ内蔵 (インピーダンス測定)
- 周波数応答特性 ± 0.08 dB (10 Hz - 20 kHz; 直流結合)
- S/N比 134 dB
- 内蔵マイクロホン用電源によりファントム電源、CCPIに対応
- TEDS対応のマイクロホン入力端子

電気-音響テストの試験パフォーマンスを向上

設計エンジニア、工程テストエンジニアの方々が必要としている、電気-音響デバイスの特性を正確に把握する目的で開発されたAPx1701トランスデューサ テスト インターフェースは、APx500 ソフトウェアから制御可能なテストアクセサリです。プリポラライズド測定用マイクロホンのシグナルコンディショニング用途の計測グレード増幅器とプロ仕様マイクロホンのファントム電源が搭載されています。

業界最高峰のパフォーマンス

APx1701はDCから100 kHzの範囲で固定ゲイン20 dBのPC制御アクセサリです。アンプ出力端の内蔵電流検出レジスタで電圧を読むことで容易にインピーダンス曲線を測定できます。アンプの各チャンネルは独立しており、8 Ω シングルチャンネルで最大100 W定格出力となっています。10 Hzから20 kHzの周波数範囲においてシステム残留THD+N ≤ -106 dB (80 kHz 帯域幅)と ± 0.08 dB (直流結合)の周波数応答特性を実現しています。S/N比は業界最高峰の134 dBです。

APx1701は測定用マイクロホン、被測定マイクロホン (DUT) の両方に対応するバランス、アンバランスマイクロホン入力端子を備えています。アンバランス入力端子がスイッチャブルCCP (Constant Current Power) およびTEDS (Transducer Electronic Data Sheet) に対応している一方でバランス入力端子はスイッチャブル+48 V フォトン電源に対応します。

高い測定確度を確約

設計性能の評価や、仕様を満たしていることを保証するための生産工程での品質保証試験、そのどちらの場合でも測定結果への信頼性が重要です。APx500シリーズアナライザの機能を拡張するように設計されたAPx1707であっても、ISO / IEC 17025:2005準拠で認定校正されて出荷されます。必要なドキュメント類も添付されます。

APx Series Audio Analyzers



APx515
2-channel audio analyzer



APx52x Series
Modular 2- & 4-channel
performance audio analyzers



APx555
High-performance, modular
2-channel audio analyzer



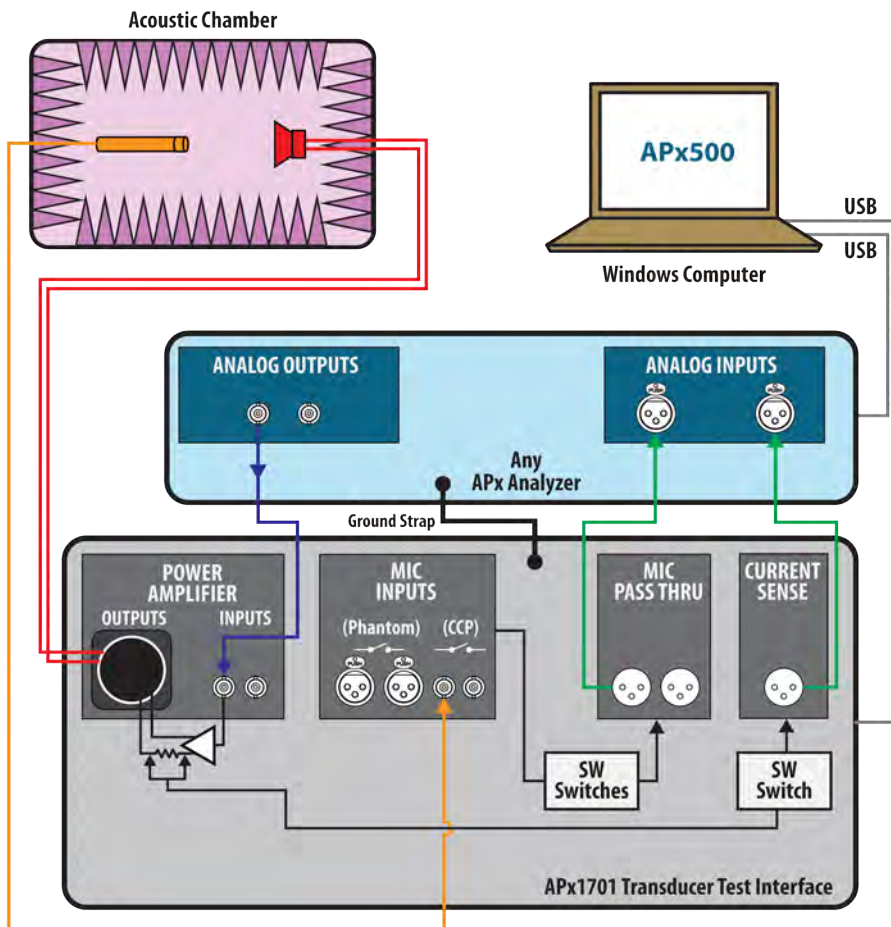
APx58x Series
8- & 16-channel modular
audio analyzers

ラウドスピーカー、ヘッドホンおよびマイクロホン試験

右図のようなラウドスピーカー測定の基本セットアップからヘッドホンインピーダンス試験やマイクロホン相互変調歪(IMD)試験のようなより複雑なセットアップを構築する際、APx1701はAPx500シリーズオーディオアナライザの使い勝手を飛躍的に拡張する理想的なアクセサリです。

APx500オーディオ測定ソフトウェアと使用することで、直感的に使用できるユーザーインターフェースを手に入れることができます。実用面においては全てのAPxシリーズは同一のソフトウェアを使用しているために、世界中で研究・開発、製造工程の環境に係わらず簡単に設定や結果を共有することができます。

一例としては、APx525ユーザーである試験工程デザイナーが作成した工程試験シーケンスを契約工場にメール送信、工場で運用されているAPx515上でそのまま実行できます。工程品質管理という意味では、APx515オペレータが被測定物の実出力を記録、515の設定情報と共に1つのファイルとしてメール送信できます。これをエンジニアリングで再解析することも容易です。



APxシリーズアナライザとAPx1701によるシステム構成例。ヘッドホン、マイクロホン測定に最適。

アナログ、デジタル、そして電気音響テストをひとつに

ワイヤレスBluetooth™スピーカーやアクティブノイズキャンセリング機能搭載ヘッドホン等の登場によりテストシナリオはさらに複雑化しており、エンジニアが試験機材の接続を頻繁に切り替える必要性が増加しています。

APx1701はAPx500オーディオ測定ソフトウェアから直接制御されます。ここにAPxシリーズアナライザが加わることで電気音響デバイスの評価環境が構築され、同時にアナログ、デジタルコンポーネントも評価することができるようになります。

主な仕様

アンプ仕様

定格パワー
100 W (1 channel into 8 Ω)
60 W (1 channel into 4 Ω)
30 Vrms (2 channels into ≥15 Ω)

周波数レンジ
DC to 100 kHz

周波数応答特性
±0.08 dB (10 Hz to 20 kHz, DC-coupled)
±0.30 dB (20 kHz to 50 kHz)
±0.80 dB (50 kHz to 100 kHz)

電圧利得
20.0 dB [x10]

残留ノイズ
≤7.5 μVrms (22 kHz BW)
≤13 μVrms (80 kHz BW)

S/N比
≈134 dB (ref 30 Vrms output)

出カインピーダンス
≈0.13 Ω (0.1 Ω current sense resistor in series with the - output terminal)

残留 THD+N
≤ -106 dB, 10 Hz to 20 kHz (80 kHz BW)

マイクロホン入力

構成
バランスおよびアンバランス (2 each)
バランス マイクロフォン入力
2 female XLR
Switchable +48 V phantom power
アンバランス マイクロフォン入力
2 BNC
Switchable CCP (4 mA, +24 V)
TEDS-capable

最大入力値
10 Vpk Balanced
5 Vpk Unbalanced

残留ノイズ
Determined by analyzer; inputs passively switched

入カクロストーク
≤ -80 dB + 1 μV to 20 kHz



Accredited by A2LA
under ISO/IEC: 17025
for equipment calibration